

1P. 知つトクセミナー参加募集・その他開催予告

3P. Wactivity Report

2P. 支え合いいきいきポイントについて・コロナアンケート結果

4P. ワクティブのわ

## 見たい！知りたい！つながりたい！ 知って得する 知つトクセミナー

第3回

参加者募集

市民活動団体による知つトクセミナー第3回目を開催します。

今回の講師は産前産後女性の支援を行っている団体「コトトモ」。活動や今までの事例を基にした生の声を聞きながら、産後の困り事や相談事をシェアしましょう。セミナー後には交流会がありますので、気軽に団体とお話しできます。

知つトクセミナー。市民活動団体の活動を覗いてみませんか？

参加費無料

定員 20名

日 時

令和3年1月23日（土）10：30～12：30

場 所

ワクティブこまき アクティブルーム（ラピオ2階）

対 象

どなたでも

内 容

わたしたちの住むまちで笑顔を生み出す  
子育てサポーター講 師

市民活動団体「コトトモ」

代表 ひろせ まさみ 昌美 氏



YouTube でセミナーの様子を配信します！

詳細は LINE・HP・Facebook で  
ご確認ください。

※申込締切 1月17日（日）

## 開催予告

団体向け講座 みんなで話そう～持続可能な活動のカタチ

2月27日（土）開催予定

助成金講座 3月に開催します

※詳しい内容は決定次第「広報こまき」、市・市民交流テラス ワクティブこまき  
ホームページ等でお知らせいたします。



# 貴方の団体、こまき支え合いいきポイントに登録できるかも？



平成 29 年からスタートした「**こまき支え合いいきポイント制度**」。今回は、「**サロンポイント**」(サロン等の集いの場の運営補助) の受入団体として登録するための 6 つの条件を紹介します。



- 主に高齢者、障がい者及び子育て中の親を対象とし、閉じこもり防止や健康維持等を目的に活動している。
- 市内にある**地域の会館、集会所等**で開催し、スタッフ以外に 5 人以上の市民が参加している。  
※オンラインや屋外での開催もOK！
- 概ね月 1 回以上の定期的な開催が計画されている。
- 参加者やスタッフが相談して活動内容を決めている。
- 営利目的でなく、政治・宗教活動団体、趣味の活動グループではない。
- 必要に応じて参加費を徴収している。

↓ 条件をすべてクリア！！



是非、支え合いいきポイントの受入団体登録を！今、運営に協力している人もこれからの人も市内限定商品券と交換できるポイントがつきます。まずは、**支え合い協働推進課 (TEL : 0568-76-1149)** へご相談ください。(職員が訪問し、制度の説明も行います。)

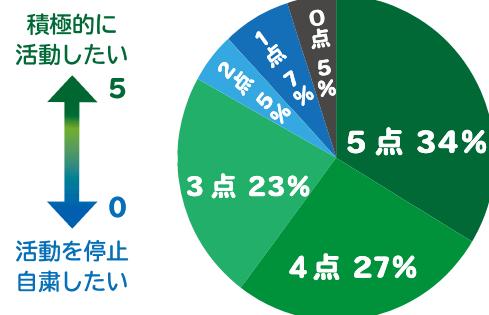
## 新型コロナウィルスが活動に及ぼす影響についてのアンケート集計結果

団体のみなさまにアンケートを実施し、コロナ禍での団体活動の様子や、ワクティブこまきへの要望等の回答をいただきました。(市民活動・ボランティア活動・地域活動・生涯学習活動団体の合計約 100 団体より)

### Q.1 活動にどのような影響がありましたか

- 66 イベントや講座の中止
- 42 参加予定のイベントの中止
- 36 会議の延期、中止
- 18 収入の減少
- 10 在宅作業になった
- 10 利用者に利用をお断りした
- 10 その他
- 7 スタッフの調整が必要

### Q.4 今後の活動に対するモチベーションは次のどれに当てはまりますか



### Q.2 運営に関する話し合いを持つことができましたか

- 71 できた
- 18 できなかった
- 4 無回答

### Q.5 "ワクティブこまき"への要望

1位 情報発信・収集	16 (31%)
2位 団体同士の交流	10 (20%)
3位 印刷機・大判プリンターの利用	8 (16%)
4位 多目的室の利用	5 (10%)

### Q.3 どのような方法で話し合いましたか

- 34 対面
- 24 LINE
- 12 ZOOM
- 12 電話
- 10 メール
- 4 書面
- 1 Facebook
- 1 FAX

※アンケート実施期間：令和 2 年 8 月末～ 9 月末

アンケート結果で要望の多かった情報収集・発信については今後の講座に取り入れ、また交流会は感染対策を万全にしながら開催していく予定です。

今年度は例年ない活動をされてこられたと思います。「人と人がつながることの大切さ」に改めて気付かされた 1 年でもありました。オンライン・オフラインと活動にフィットした方法が選択できるようにワクティブこまきもみなさまからの要望に対し持続可能な提案をしていきたいと考えています。

# ワクティビティ Wactivity Report

## まちを育む 市民と行政の協働交流会

10月30日（金）に令和2年度こまき市民交流テラス協働啓発事業『まちを育む 市民と行政の協働交流会』が行われました。8回目の交流会となる今回は、コロナ禍ということもあり開催が危ぶまれましたが、フェイスシールドとマスクの二重で飛沫を防止するなど、感染拡大防止を徹底し、開催いたしました。ディスカッションでは、安全・環境や教育・子育てなどの分野に分かれて市民と行政職員が一緒にになって、小牧市の良いところや課題を話し合いました。

共通の話題を違う角度から見ることで、普段の活動や業務では思いつかないような意見がたくさん出て、熱のある話し合いができました。この交流会がきっかけとなり、“協働のパートナー”として認識し合える関係づくりが進むことを期待したいです。（開催場所：市役所 601会議室・食堂）



見たい！知りたい！つながりたい！

### 知って得する 知っつきセミナー

10月24日（土）、NPO法人ちえぶら代表の永田による「生きがいデザイン講座」～健康・生きがい・生涯キャリアを考える～を開催しました。生きがいとは何かを教えてもらい、自分の生きがいを可視化する、好きなこと・感謝されること・やりたいこと・得意なことを参加者2人1組で互いに書き出し、自分の生きがいは何なのかを模索しました。交流会では、「今後の生き方について考えるきっかけになった」との意見もあり、このセミナーが人生のターニングポイントになったのかもしれないと嬉しく感じました。

第2回目は12月5日（土）「地域親って、サイコー！」と題して学校の登校時見守り運動や、園児と一緒にゴミ拾いなど、地域で子どもを育てようと活躍されている南部地区ボランティア連絡会代表の末松さんにお話を伺いました。末松さんはこの活動を“生きがい”としているそうです。参加者はそんな末松さんのお話を真剣に耳を傾け、感銘を受けたと話していました。（開催場所：ワクティブこまき）



▲第1回講座の様子  
▲第2回交流会の様子

## まちの「かたり場」中間報告

11月19日（木）、12月10日（木）まちの「かたり場」を開催しました。第1回はNPO法人岡崎市まちづくりセンター・りた 事務局次長の三矢勝司さんから岡崎市でのまちづくりの事例を紹介していただき、小牧でやりたいこと、挑戦したいことなどを話し合いました。第2回は小牧市の概要と市内で活躍中の市民活動団体からの話を聞いた後、ポスターセッションを行いました。1回目から、「小牧をよくしたい！」という熱い思いが各々から伝わり、ワクワクと目を輝かせながら話し合いをしていましたが印象的でした。みんなで楽しみながら作る小牧市はきっと魅力的なまちになると思います。このまちの「かたり場」から新たな繋がりが生まれることに期待したいです！第3回は1月14日（木）に開催しました。（開催場所：ワクティブこまき）



### ボランティアマッチング事業

## ワクボラデビューに密着！

ボランティアをしたい！という個人とボランティアを求める団体をつなぐマッチング事業が始まりました。

マッチング第1号は、こまき視覚障がい者の会×ワクボラの南さん。9月26日（水）に開催されたiPhone講座で参加者誘導・受付・会場準備などのお手伝いです。

ボランティア活動を終えた南さんは「人の名前を覚えるのが苦手なので会場誘導が不安だったけど、会の方がサポートしてくれたのでよかった」と話してくれました。団体代表の水谷さんは「すごくよく動いてくれて助かりました」とすぐ次回の講座のボランティア募集をお願いされました。その後11月と12月に開催された2講座で延べ6人のマッチングが成立し、ワクボラの皆さんに活躍していただきました。

ボランティア募集したい団体さん、ボランティア希望の方はもちろん、話だけでも聞いてみたい方もお気軽に



にワクティブこまき窓口にお声掛けください！  
(開催場所：ワクティブこまき)

ワクティイイコマキスタッフがテラスを飛び出して

団体活動の現場をレポートします！



# みつけるつながる「ワクティイイ」のわ



▲正しい靴の履き方を実習

フットケアサークルでくく  
代表 | 稲葉 あい子   
設立 | 2018年  
会員数 | 4人  
活動内容 | 足の健康の啓発活動



足を切断する人を一人でも減らしたいという思いから、足の健康とケア方法を伝える活動を始めた団体「フットケアサークルでくく」が住友理工の助成を受けて「コロナ禍でもできる！ フットケアを学ぼう（第1回）」いつまでも自分の足で歩くためく」を開催しました。

第一部は、岐阜ハートセンター形成外科・足外来医菰田拓之先生のZOOMによる講演。医療現場で日々行われている治療の現状を実際の足の傷の写真をプロジェクトに映し、「この様な足にならないように」と解り易く説明し、その後参加者の質問に回答しました。

第二部は、会員看護師の指導により、素足でタオル・ボール・

棒を使用しての足の体操、インソールを用いた足に合った靴の選び方、正しい歩き方などを学びました。そして最後に足の手入れの方法を教えていただきました。

両講師共、毎日自分の足の観察と手入れを継続する事が大事だと提唱しました。参加した方は「とてもためになるお話でした」と大好評でした。



▲ZOOM講演の様子



▲河川敷を歩きながらゴミ拾い

大山川をきれいにする会  
代表 | 小沢 通男   
設立 | 2019年  
会員数 | 45人  
活動内容 | ふるさとの川をきれいにする活動を通じて地域の交流をはかる

は、大山川を愛する市民の会の解散をきっかけに世話人副代表を務めていた環境カウンセラーの小沢通男さんが昨年10月に立ち上げた団体です。活動場所は、不発橋を中心にして700mの範囲。夏の暑い時期には毎週早朝に10人ほどで草刈りをしていました。

今回の活動には、38名が参加。ほとんどは同会の会員ですが、会員ではない方や、お子さん連れで参加された方もいました。集合後はすぐに写真撮影。撮影も密にならないよう呼びかけます。「今日も小牧でコロナの感染者が出たので気を付けて。体を動かして免疫力をつけましょう」とあります。

河川敷を歩きながらゴミ拾いは、大山川をきれいにする会の活動場所は、不発橋を中心にして700mの範囲。夏の暑い時期には毎週早朝に10人ほどで草刈りをしていました。

てからゴミ拾いスタートです。皆さん軍手にトングとゴミ袋を持つて慣れた足取りで進んでいきます。途中魚の死骸にびっくりする場面もありました。こういったことも「ゴミ拾いの後で共通の話題で盛り上がり楽しい」と会の方が話してくれました。川の清掃を通して地域の交流が深まっていました。



▲本日の参加者全員集合



編集後記

HAPPY NEW YEAR♪ 今年は丑年ですね。丑(牛)の年は、先を急がず一歩一歩着実に物事を進めることができます。(い)

